

巨大災害に立ち向かう

9月3日(木) 開会 18時30分
 プラザエフ (主婦会館) B2・クラルテ

1923年9月1日。東京を強烈な地震動が襲い、南関東を中心に死者10万人、倒壊・延焼棟数37万という甚大な被害がもたらされました。それから92年。いま、日本列島は「地震の再活性期」に入ったとされ、この4半世紀うちに東日本大震災をはじめ震度7の巨大地震が連続して発生しています。

これらの地震災害の教訓に学び、1300万人が暮らし、日本の政治・経済の中心である東京での備えについて考えます。



2011. 3. 11 メモリアル

福島*の*いま
 伊東 達也

原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員
 浜通り医療生協理事長、元日本共産党福島県議



1923. 9. 1 メモリアル

首都直下地震にどう備えるか
 末延 渥史

防災首都圏懇談会・東京災害対策連絡会世話人



資料代 1,000円

後援：東京民報社

主催 革新都政をつくる会 東京災害対策連絡会 防災首都圏懇談会